

- 国際女性デーを女性活躍について考えるきっかけに
- 子どもたちが自由に将来を選べるように ～幼少期からジェンダー平等の種をまこう～
- NO アウティング
～性のあり方を本人の許可なく暴露することは許されません～
- インフォメーション
- 編集後記

かがやけ地球

VOL.134



藤沢市

国際女性デーを 女性活躍について考えるきっかけに

3月8日は国連が定めた「国際女性デー」です。女性の権利と政治的、経済的分野への参加を推進していくために、国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱され、その後1977年の国連総会で議決されました。「国際女性デー」の期間は、世界各国で国連が決めたテーマに沿ったイベントが開催されており、近年では企業による啓発イベントも増えています。

日本における 女性活躍の現状

日本はジェンダー平等に向けて解決すべき課題が山積みです。2023年の日本のジェンダーギャップ指数は、146か国中125位と2006年度の公表以来最低となりました。分野別では政治分野が138位、経済分野が123位となり、順位を下げる大きな要因となっています。組織のトップを務める女性が少ない点や非正規雇用者において女性が占める割合の高さといった課題を解決していく必要があります。

「国際女性デー」 の目的

「国際女性デー」の目的は、女性が社会的に平等でいられるように、女性の権利を守る取組を世界全体に呼びかけることです。また、ジェンダー平等に向けて活躍した女性を称え、いま一度女性の置かれている地位を見つめ直し、女性の地位向上のために行動することも目的の一つです。

藤沢市における 女性活躍の推進活動

藤沢市では、「ふじさわジェンダー平等プラン2030～藤沢市男女共同参画計画～」を策定し、人権を尊重したジェンダー平等の社会づくりやあらゆる分野でのジェンダー平等の促進のため、さまざまなイベントや研修・学習会を実施しています。「国際女性デー」の機会に、わたしたちの身の回りのジェンダー平等や女性活躍について考えてみるのはいかがでしょうか。

(佐野 記)

国際女性デー関連事業

予告

私らしいキャリアを 描いてみよう ～マルチステージを楽しもう～



これから、仕事を見つけない人！ やりがいを見つけない人！
自分流のワークライフバランスを考えてみませんか？
自分のキャリアの考え方、実現の仕方について学んでみましょう♪

講師

高橋 晴子 氏

(ふじさわジェンダー平等プラン推進協議会委員)



日時

2024年 3月10日 日
(令和6年)

午前10時～11時30分

場所

村岡公民館 1階ホール

Web会議ツール「Zoom」によるオンライン参加も可能

定員(抽選)

会場 60名 / オンライン 60名

※年齢、性別を問わず、どなたでもご参加いただけます。

申込方法

右の二次元コードもしくは、村岡地区ポータルサイトからe-kanagawaにアクセスし、申請してください。
インターネットによる申込みができない方は村岡公民館窓口まで(平日のみ)。
※申請時には各種注意事項を必ずご確認ください、同意のうえ、お申込みください。



申込期限

2024年(令和6年) 2月29日(木)

抽選結果発表

3月1日(金)頃、当選された方にのみメールを送付いたします。
メールがない場合は落選となります。

主催

藤沢市 村岡公民館・人権男女共同平和国際課

お問い合わせ

村岡公民館 電話:0466-23-0634 FAX:0466-23-0641
[受付時間:平日 午前8時30分～午後5時]

子どもたちが 自由に将来を 選べるように

～幼少期からジェンダー平等の種をまこう～



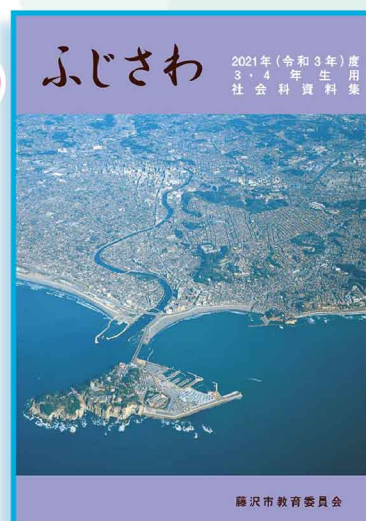
無自覚のうちに性別により職業を考え、子どもたちの可能性を狭めてしまっていることはないでしょうか。

性別にとらわれずに子どもたちが自由に将来の生き方を選べるようになるために、私は、幼少期の学習体験が非常に重要だと感じます。性別に基づく固定観念が植え付けられてしまう前から、社会にどういった職業や生き方があるのかといった社会の基礎となる情報を学んでおくことで、幅広い選択肢に結びつくことが期待できると考えています。

先日、藤沢市立小学校の社会科の授業で使用している資料集を見ました。その資料集では、くらしの流れとして社会の成り立ちを学ぶことができるため、社会について客観視し、自由に未来を想像し、性別にとらわれることなく各々が興味を抱いたものを自発的に調べる習慣が養えます。

給食のパンは
どこから
来るのでしょうか

人びとの仕事、
品物はどこから



藤沢市教育委員会

自分が自分らしく生きられる道を自分で選べるように、まずは社会について知ることが重要だと感じます。同時に子どもたちには多くのジェンダー平等の考え方に触れてもらい、誰もが性別に関わりなく、興味や希望を持って、自由に将来の生き方を選べる社会になることを願っています。

店で売られている野菜は
どこでどのように
つくられているのだろう？

(前田 記)

NO

アウトティング

～性のあり方を本人の許可なく暴露することは許されません～

「アウトティング」という言葉を知っていますか。「アウトティング」は、誰かの性的指向や性自認を本人の許可なく暴露することです。「カミングアウト」が、主に性的マイノリティが自らの性的指向や性自認について自らの意思で開示することであるのに対し、「アウトティング」は他人が勝手に言いふらすものであり、全くの別物です。



性的指向を友人グループに暴露された大学生が転落死した事件や、上司により意に反する性的指向の暴露をされた会社員が精神疾患を発症し、後に労災認定されたケースが報道されたことにより、「アウトティング」という言葉が世間に認知されるようになりました。

現在、一部自治体では、「アウトティング」を禁止する条例が施行されています。また、労働施策総合推進法の改正により、「アウトティング」や、性的指向、性自認に関する侮辱的な言動としての「SO G Iハラスメント」はパワーハラスメントに該当することが明確にされ、企業等においては防止対策が義務付けられたりするなど、社会は少しずつ変わってきています。



性的指向や性自認を「カミングアウト」するかどうかや、いつ・誰に・どのように伝えるかは本人が決めることです。本人の許可なく、最も大切にしなければならないプライバシーである性的指向や性自認を暴露する「アウトティング」は、本人の人格を傷つけ、最悪の場合、生死に関わるような重大な事態を引き起こす可能性がある人権侵害であるということを、きちんと認識する必要があります。

他者を思いやる気持ちについてもう一步理解を深めることで、一人ひとりが安心できる居場所を互いに守ることができるのかもしれません。

パートナーシップ宣誓制度に係る 自治体間連携を横浜市・伊勢原市と開始しました

藤沢市と横浜市・伊勢原市の間で、パートナーシップ宣誓制度を利用している当事者が転入・転出する場合に生じる負担の軽減を図るため、同制度に係る自治体間連携に関する協定を締結しました。

この連携を契機に、セクシュアルマイノリティをはじめ、様々な事情から婚姻届を出さない、あるいは出せない方々の悩みや生きづらさに一層寄り添っていくとともに、周囲の理解促進を図ります。

連携によるメリット

- 転出元自治体へのパートナーシップ宣誓書受領証等の返還手続きが不要になります。
- 転出先自治体への提出書類が一部省略できます。

● 本市と自治体間連携を実施している自治体

※2024年1月時点

横浜市

茅ヶ崎市

伊勢原市

寒川町



藤沢市パートナーシップ宣誓制度について詳しくは、二次元コードから



編集後記



- ・留紺の空にくっきりと浮かぶシーキャンドル。思わず足を止めました。(鈴木)
- ・先生忙しく生徒達も頑張っのての半日運動会、いいですね。(前田)
- ・運動をたくさんしてこの冬を乗り越えたいと思います。(佐野)



かがやけ地球は、市民の編集員さんと協力し、年2回発行しています。

編集スタッフ

鈴木 悠子・前田 英孝
佐野 夏央子・山中 亜莉沙



ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております！